

東京グリーン水素ラウンドテーブル

川崎重工の水素関連の取組み

2022年8月19日

川崎重工業株式会社

 **Kawasaki**
Powering your potential



かわる、
サキへ。
Changing forward



川崎重工の水素関連の取組み

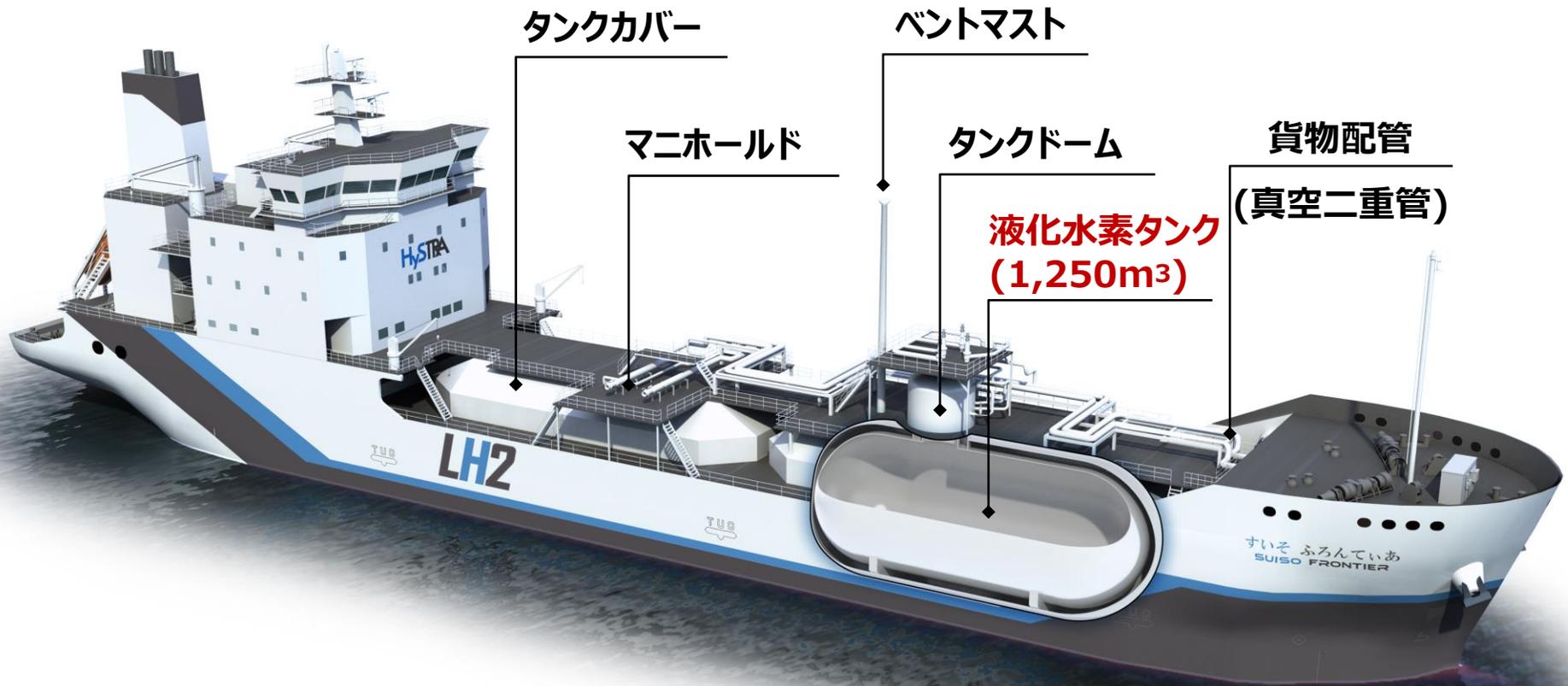
1. 液化水素運搬船の開発
2. 水素ガスタービン発電の実証
3. 今後の課題

CO₂フリー水素チェーンのコンセプト

CO₂の排出を抑制しながらエネルギーを安定供給



液化水素運搬船 “すいそ ふろんていあ”



全長	116メートル	航海速力	13ノット(*)
全幅	19メートル	航続距離	11,300海里(*)
定員	25名	推進方式	電気推進

1ノット = 1海里/時 = 1.852km/時

提供：HySTRA

液化水素運搬船

命名・進水式 (2019/12/11)



パイロット船タンク: 1,250m³

日豪初航海帰港 (2022/2/25)



大型商用船タンク: 40,000m³ × 4タンク



×128



水素ガスタービンコージェネレーション実証 (神戸ポートアイランド)

水素と天然ガスを燃料とする1 MW級ガスタービン発電設備（水素CGS）を用いて地域レベルでの「電気」「熱」「水素」エネルギーの効率的な利用を目指す新たなエネルギーマネジメントシステム（統合型EMS）の技術開発・実証を行う
大林組、川崎重工、神戸市、関西電力、岩谷産業、Kenes、大阪大学



水素CGS実証 エネルギー供給先 (神戸ポートアイランド)



国際展示場



ポートアイランド
スポーツセンター



水素CGS
エネルギーセンター

エネルギーの供給能力

電力 およそ 1,100kW

熱 およそ 2,800kW

エネルギー供給先 (2018年11月時点)



ポートアイランド
処理場



中央市民病院

市街地で水素100%を燃料としたガスタービン熱電供給は**世界初**

ご清聴ありがとうございました

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

“Global Kawasaki”

川崎重工業株式会社

<http://www.khi.co.jp>